

EPA メール本文：コンピュータ基準 V5.2

低消費電力量のデスクトップコンピュータについて（2011年11月22日）

====EPA メール概要和訳=====

ENERGY STAR コンピュータ製造事業者および他の関係者各位：

- ・ 本メールは、ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 5.2 に対する明確化の可能性を通知するものである。
- ・ 業界は多くの従来型コンピュータプラットフォームに携帯用機器分野の低電力技術を利用し続けており、製品は、以前は低電力モードにおいてのみ見られていた数値と同水準のアイドル時消費電力値を提供するようになった。
- ・ このような製品には従来のシステムスリープモードが無い可能性があるが、大幅な省エネルギーの機会を提供する。
- ・ これら製品を現行バージョン 5.2 基準のもとで考慮するため、EPA は以下の説明文を提案し、関係者による検討を求めている。

- ・ 明確なシステムスリープモードは無いが、ENERGY STAR コンピュータプログラムの対象範囲および適切な製品機種定義の両方を満たしている低消費電力量デスクトップコンピュータについては、以下の両方の項目が当てはまる場合において、スリープの代わりにアイドル時の消費電力を TEC 計算に使用することができる。
 - ー ディスプレイのスリープが基準書において求められているとおりに実施されている（15分の無動作後に開始。出荷時において有効にされている。）および、
 - ー アイドル時消費電力が 10W 以下。

- ・ EPAは、この説明文案に対する意見書の提出を歓迎するとともに、**12月8日木曜日**までに computer@energystar.gov宛に送信されたものを考慮する予定である。
- ・ 最終的な指針は、EPA による提出意見の検討後に公表される予定である。
- ・ EPA は、本プログラム内において正式にこれら製品に対処できるようにするために、バージョン 6.0 基準策定の取り組みの一環として関係者と協力して取り組む予定である。
- ・ 質問がある場合には、computers@energystar.govまで。

=====